

『アウロラの葬列』設定資料集

☆あらすじ

失恋したあなたがあてどなく辿り着いたのは最果ての地、カナダのドーソンシティ。寒さで意識が朦朧としていたところを現地に住む日系人のハルカに助けられる。捨て鉢になっていたあなたをハルカはオーロラ観測に誘う。観測用につくられたキャビンに案内され、そこであなたはハルカとの意外な共通点を知ることになる。

登場人物

ハルカ・アマミヤ（19）／ナレーター

バー「ゴールドラッシュ」で働いている日系の女の子。

生まれも育ちもカナダのドーソンシティ。

夏は砂金取りのアシスタント業、冬季は観光客にミッドナイトドームの丘でオーロラ観測の案内をするガイドもしている。

ゴールドラッシュとオーロラ観光でかろうじて成り立つ危うい街に住んでいるのに嫌気がさしている。外には開放的でも身内にはひどく閉鎖的な街の中で、ハルカは息苦しさを覚えている。付き合っていた女の子が街で同性愛者と噂されるのに耐えられず自殺してしまった過去がある。

ハルカは街を出ようと思う一方で、彼女が好きだったオーロラ（彼女の象徴）のあるこの地から離れられないでいる。観光客と出会い、外の話や空気を取り入れて、彼女は街の人間とは違うと自分に言い聞かせ、日々をごまかしながら生きている。

髪はピンクゴールドでショートカット。

中性寄りのボーイ系。身長168センチ。胸はBカップ。

スノーモービルの運転が得意。

真白ゆき（18）／リスナー

日本の女子大生。両親と死別して以来、叔母に引き取られて二人暮らしをしていた。年若い叔母といっしょに暮らす中で恋心を抱いていたが、先日あえなく失恋。

失恋のショックから当てのない一人旅に出てカナダのドーソンシティにたどり着く。

黒髪のロングヘア（叔母とおそろい）にしていたが、作中ではショックのあまりに髪がぼさぼさになってしまった。

きちんとしていれば可愛らしい女の子。身長165センチ。胸はEカップ。

からあげ（叔母の好物）を作るのがとくい。生玉ねぎがにがて。

舞台設定

カナダ・ドーソンシティ

犬ぞりレースと砂金採り、オーロラが有名なカナダの観光名所の一つ。人口は少ないがシーズンには観光客がオーロラ観測やゴールドラッシュ気分を味わいにやってくる。

1年の半分以上は雪が降っている。冬の時期はマイナス30度になることもある極寒の地。

オーロラ観測においてはことミッドナイトドームの丘からの観測が有名であり、いわゆる絶景ポイントとされている。

バー・ゴールドラッシュ

ゴールドラッシュ時代をテーマにしたバー。木材中心の建材、アンティーク風の内装は古き良き時代を想起させると観光客に人気。バーでありながら食事も充実しており、名物の「ゴールドラッシュ・ステーキ」はシャベルで焼かれて提供される特大ステーキ。注文時に目の前でつるはしを使ってステーキを小分けにするパフォーマンスをするかどうかを選べる。観光案内所とも提携しており、簡単なツアープランも申し込める。